

「街プレ」に学生が担う 「地域PRメディアチーム」



青梅市長を表敬訪問したチームメンバー

西多摩の魅力を広く発信 CSVテーマに取り組み個人、団体など取材

西多摩地域のフリーペーパー「街プレ」に学生が担う「地域PRメディアチーム」が発足した。活動初日の7月10日、大勢待利明青梅市長を表敬訪問し、取材活動を通し、同市をはじめ西多摩の良いところを広く発信していきたいと意気込みを伝えた。

メンバーは日本航空 奈さん。3人は元気に
大学校東京青梅キャンパス3年の村上大瑚さん、同2年の小原野乃さん、同1年の吉留佐さん、同1年の吉留佐さん。

きたいと報告した。

大勢待利市長は活動に期待を示すとともに、常日頃気にかけている青梅市に越してきての



初取材日はうどん店(青梅市)などを訪ねた。テーマとして、農業・医療福祉・食・観光・文化・教育などの各ジャンルで、地域を見聞。社会課題の解決など様々な取り組みを行う企業、団体、個人を記事や動画、SNS・デジタル広告で配信・紹介し、地域の活性化に繋げる狙いがある。

同メディアチームは、プラネット(青梅市新町)が運営する街プレや西多摩経済新聞などのメディア記者として活動。主にCSV(共有価値の創造)を

活動初日 青梅市長を表敬訪問

感想を求めた。村上さんが「とても住みやすい。商業施設が近くにあり、自然も多い」と答えると、市長は「はにっこりうなづいた。併せて「花火大会や地元祭、フードフェスティバルなど市や地域住民が取り組む行事に向いてほしい。魅力的な観光地も多くPRをお願いしたい」と注文した。

一方、参加の学生には企画力、取材力、文章力、SNS活用などで力をつける機会となり、将来に役立ててもらう。同メディアチーム事業の開始に当たっては、プラネットと日本航空大学校が連携し、同僚が西多摩地域と同大の交流を進め、地域の発展、学生たちの成長に繋がるものにすることを確認している。

青梅のご当地ソング「御岳慕情」

カラオケで配信開始 奥多摩の歌手、原大五郎さんがカバー



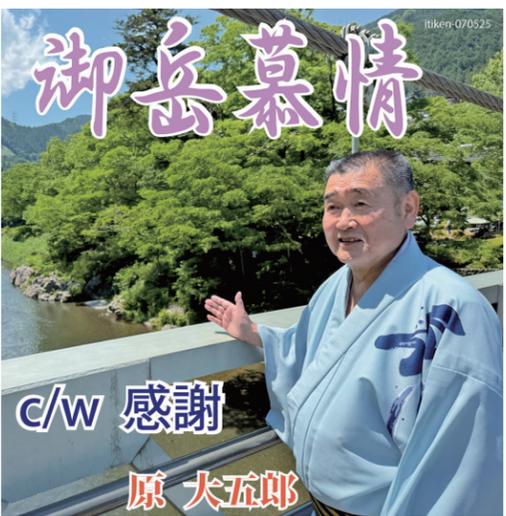
録音に臨んだ原さん(右から2人目)

2023年3月に発表された「御岳慕情」を、奥多摩生まれ奥多摩育ちの歌手、原大五郎さんがカバー。このほどCDが発売された。

「御岳慕情」は青梅の御岳渓谷や御岳山を



発表会には多くの歌仲間が集った



c/w 感謝
原大五郎

7月18日、青梅市榎木のスナック「径花」で新曲発表会を開催した。御岳慕情は青梅の御岳渓谷や御岳山を舞台に男のいぢずな恋心を描いた歌。青梅市沢井でユズ農家を営み2022年12月に82歳で亡くなった市川健一さんが作詞・作曲した。CD制作の話が進む途中で市川さんは体調を崩し、帰らぬ人になった。「CDにして多くの人に聴いてほしい」と話す。カップリングはオリジナル曲の「感謝」。価格は1200円。

「い」という希望をつなぎ、家族がCDを制作した。へさがし歩いて多摩川のしづきに濡(ぬ)れてる遊歩道 今日も一人で、空見上げれば 紅葉に映える 紅葉に映える あーあー御岳橋(1番) 3番まである軽快な歌謡曲で、寒山寺や御岳渓谷の異名、射山溪、御岳山などの地名が盛り込まれたご当地ソング。この歌にほれ込んだのが原さん。「奥多摩ふれあいまつり」などで歌謡ショーを開き、原さんは「本当にいい歌なので、皆さんに聴いてもらい、地域の盛り上げに一役買いたい」と話す。カップリングはオリジナル曲の「感謝」。価格は1200円。